

創立100周年スローガンおよび記念ロゴ

人に快適を。地球に最適を。



2025年4月22日(火)に創立100周年を迎えるにあたり、スローガンおよび記念ロゴを作成しました。

■スローガンについて

当社の事業は「世の中を“快適”にしている」ことが全社員の共通認識であり、また、経営理念として長きにわたり継承されている「社会の発展に貢献する」姿勢を三機工業“らしさ”として捉え、さらに、今後目指すべき未来として、超長期ビジョンに掲げる「サステナブルな世界の実現」に向けた意志を言語化しました。

■ロゴについて

これからの100年も『人の快適と地球の最適』を提供し続ける意志と、空気・水・物の流れをつくり前進し続ける姿勢を、躍動感ある1本の多彩なラインで表現しています。

今後も株主をはじめ、お客様やお取引先、従業員およびそのご家族など、多くのステークホルダーの皆様に感謝を込めて、記念サイトの開設や記念イベントなど、創立100周年に関する取り組みを展開してまいります。

株主通信

第2四半期(中間期)決算のご報告

[2025年3月期]

2024年4月1日～2024年9月30日

証券コード:1961



カITEキを
サステナブルに。



代表取締役社長

石田 博一

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループへの厚いご支援を賜り、心より御礼申しあげます。2025年3月期第2四半期(中間期)決算のご報告にあたり一言ご挨拶させていただきます。

当社グループは現在、長期ビジョン“**Century 2025**”の最終フェーズと位置付ける4カ年の中期経営計画「“**Century 2025**” Phase3」を推進中です。本計画においては、これまで進めてきた「質」と「信頼」を高める取り組みを継続しつつ、ステークホルダーの皆さまからもっと「選ばれる」会社を実現すべく、「社会のサステナビリティへの貢献」「働き方改革の加速」「次世代に向けた投資」に注力しています。

計画3年目となる2025年3月期は、良好な受注環境のなか、受注高は前年同期を大きく上回りました。また、建築設備事業の順調な工事進捗により増収となったことや、受注時および施工中の利益率改善により大幅な増益となったことも踏まえ、業績予想および期末配当予想の引き上げを発表させていただきました。

今後とも当社グループ事業へのご理解とともに、長期のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年12月

上半期のご報告と通期の見通し

当上半期の業績は、受注高は前年同期の1,253億円から1,509億円に増加するとともに、売上高も順調な工事進捗により同894億円から1,059億円に増加しました。利益についても、増収と建築設備事業の利益率改善が牽引し、前期から大幅に増益となりました。

営業状況を事業別に振り返りますと、建築設備事業は、大型工事を受注したことにより受注高が増加しました。また、売上高およびセグメント利益は、前期から繰り越した大型工事の工事進捗および利益率改善等により増収増益となりました。プラント設備事業における機械システム事業と環境システム事業は、受注高は減少しましたが、売上高は前期からの繰越工事が進捗したことにより増収となり、セグメント損失は改善しました。

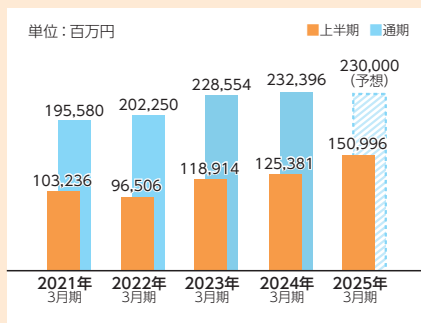
結果として当上半期末の繰越受注高は、当期首から

450億円増加し、2,439億円と豊富な仕事量を確保しています。

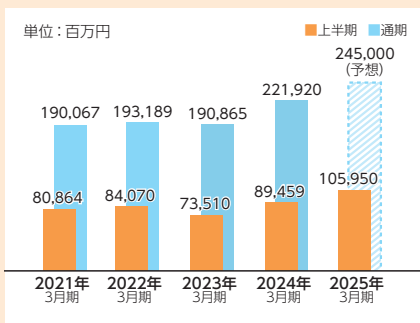
このように上半期の業績が順調に推移したことから、通期業績は期初予想を上方修正し、受注高2,300億円(前期比1.0%減)、売上高2,450億円(同10.4%増)、営業利益165億円(同42.4%増)、経常利益170億円(同33.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益116億円(同29.6%増)を見込んでいます。

業績予想の上方修正に伴い中間配当および期末配当予想も修正し、中間および期末配当をそれぞれ1株当たり55円に引き上げ、年間配当額は合わせて同110円となる予想です。

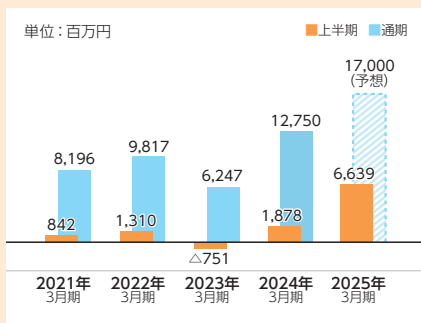
受注高



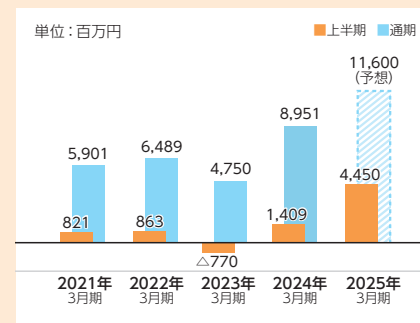
売上高



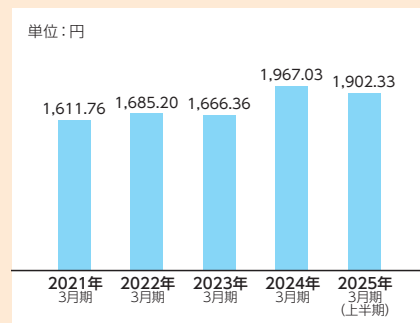
経常損益



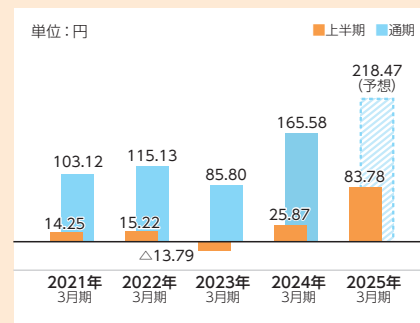
親会社株主に帰属する中間(当期)純損益



1株当たり純資産額



1株当たり中間(当期)純損益

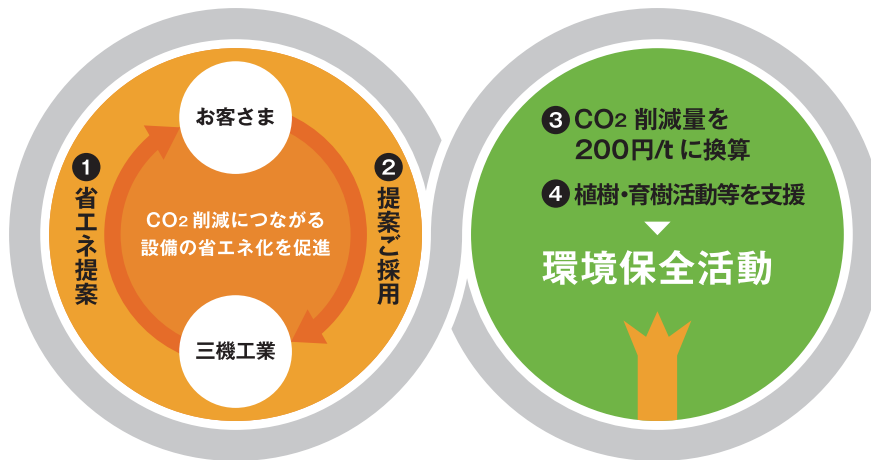


「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度を通じたカーボンニュートラルへの貢献

当社グループは、マテリアリティ(重要課題)の一つに「脱炭素社会への貢献」を掲げ、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、サプライチェーンを含むあらゆる事業活動の場でCO₂排出量削減に向けた取り組みを進めています。総合エンジニアリングを通じて脱炭素化に貢献できる技術を持っている私たちは、お客さまに対する省エネルギー・創エネルギー提案を推進しています。

2010年度に立ち上げた「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度は、お客さまへのCO₂削減提案をポイント化し、環境保全活動を支援する独自の取り組みであり、お客さまのCO₂削減と環境保全の両方に貢献する制度です。

「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度の仕組み



社会の発展と環境との調和を目指す、
「SANKI YOUエコ貢献ポイント」のシンボルマーク。

ECO2：お客さまと環境保全のエコ (Ecology) にWで貢献 (Contribution) することによって、CO₂を削減します。

① 省エネ提案

当社が手がける設備工事等において、お客さまのCO₂削減につながる省エネ提案を積極的に行っています。

② 提案ご採用

設備の省エネ提案をお客さまにご採用いただいた場合、それによって実現するCO₂削減量に応じて「SANKI YOUエコ貢献ポイント」を発行します。

③ CO₂削減量を200円/tに換算

「SANKI YOUエコ貢献ポイント」はCO₂削減量1トンにつき200円に金額換算し、環境保全活動の支援に充てられます。

④ 環境保全活動を支援

環境保全団体等と連携し、全国各地の植樹プロジェクトへの支援や生物多様性の保全を推進しています。

脱炭素社会に貢献する三機工業グループの技術

ビル空調や産業空調、水処理施設、廃棄物処理施設、搬送機器・システムなど、当社が施工を手がける設備・施設は電力などのエネルギーを使用して稼働します。また、その多くは長時間にわたって稼働することになるため、設備の省エネルギー化や創エネルギー設備の導入はCO₂排出量の削減に大きな効果があり、コスト面でも大きなメリットを生み出します。

産業用クリーンルーム空調の省エネルギー化

産業用クリーンルーム向け省エネシステム「DOUP®」は、高い清浄度が要求されるオペレーションエリアと、生産装置発熱が大きいメンテナンスエリアとを、それぞれ適した方法で空調。熱の効率的処理によって熱源機の効率をアップし、従来のクリーンルームと比較して年間で約10%の冷熱源動力の削減に貢献します。



ESCO事業による大規模省エネルギー改修

教育施設や医療施設といった大規模施設の設備更新にあたり、省エネルギー改修にかかる費用を光熱水費の削減分で賄うESCO事業の提案を実施しました。群馬大学昭和キャンパスにおけるケースでは、大学・既存管理者とESCOが一体となって既存設備運用改善を行い、既存設備を含め大きな省エネ効果が見込めます。



省エネ大賞



群馬大学昭和キャンパス

木質バイオマスガス化発電、バイオガス発電を利用した脱炭素化

木質バイオマス进行ガス化させ利用する「木質バイオマスガス化発電設備」は、高効率で安定した発電が可能な発電設備です。またバイオガスを利用して発電する「バイオガス発電設備」は、下水汚泥や生ごみなどの有機性廃棄物から発電できる設備です。これら創エネルギー設備の提供により脱炭素社会の実現に貢献しています。



木質バイオマスガス化発電設備

下水処理施設の省エネルギー化に大きく寄与する「エアロウイング」

膨大なエネルギーを必要とする下水処理施設では、下水処理の各工程で消費電力の削減を実現する技術の導入を進めています。超微細気泡散気装置「エアロウイング」は超微細気泡による曝気で汚水の汚れを分解・浄化するために必要な空気量を低減させ、大幅な省エネルギー化を実現します。



エアロウイング

ウェルビーイングを追求し、快適な環境を構築

アーバンネット御堂筋ビル

オフィスビルの開発や賃貸事業を軸に展開するNTT都市開発株式会社は、新たな街づくりを推進するNTTアーバンソリューションズグループの一員として、関西エリアのフラッグシップ施設となるアーバンネット御堂筋ビルを建設しました。当社はその空調設備の施工を担当しました。

オフィスフロアの空調ゾーンを細かく分け、60㎡といった狭い範囲でより柔軟な温湿度調整を可能にするなど、働く方たちが快適に過ごすことができる、ウェルビーイングを取り入れた空間を建設会社とともに構築しました。また、ZEB Ready(ゼブレディ)の実現に寄与する設備として、排熱を有効活用する「ガスコージェネレーションシステム」を導入するなど、



▲アーバンネット御堂筋ビル外観

省エネルギー化を実現する空調システムを構築しています。

今回の施工では、当社のR&Dセンターと連携しながら、施工管理支援ツールを導入することで設備のBIMモデルをタブレット端末によって現場で確認することを可能とし、当社が開発した「自動風量計測ロボット」を採用することで各フロアの風量計測作業の大幅な省力化を実現しました。

これからも当社は、働く方が健康で快適に過ごすことができるオフィス空間の構築に取り組むとともに、施工DX化の推進によって、安全・品質の向上はもちろん、さらなる施工効率化を図ってまいります。



▲BIMを活用した3Dの施工図面

現場担当者の声

VOICE



左から順に、
関西支社
空調衛生技術1部

鵜野 恵子
田崎 雄也

今回の施工では、設備機器からの水漏れによって快適な環境を損なうことがないよう、機械室に漏水検知システムを構築。さらに、オフィスエリアでは加湿給水に継手のない配管を利用するなど、お客さまのご要望に応えるべく、徹底した漏水防止対策を実施しました。

これからも当社は、お客さまの様々なニーズに応えた質の高い施工を行ってまいります。

省力化や省エネ化を実現する高度な排水処理設備を構築

遠東石塚グリーンペット株式会社 姫路工場

茨城県に拠点を置き、ペットボトルからペットボトル原料へと水平リサイクルする事業で躍進する遠東石塚グリーンペット株式会社は、需要の高まりによる事業拡大のため、西日本エリアの生産拠点として兵庫県姫路市に工場を新設しました。当社グループの三機アクアテック株式会社は、再生フレーク*の生成過程で発生した工場排水を処理する、高度な排水処理設備の設計・施工を担当しました。

ペットボトルの水平リサイクルの過程では、ペット片や粉体状の固形物などを含んだ高濃度排水やアルカリ洗浄排水が発生します。これらの排水に対して、法規制による排水規制基準や、飲料メーカーからの厳しい要求基準をクリアし、当社グループ独自の技術と、膜分離活性汚泥法などを導入する

ことで、ランニングコストを低減し、省力化や省エネルギー化を実現する設備を構築しました。前処理・生物学的処理・汚泥処理といった工程を、自動制御による一連の流れで行える設備を構築することで、高度な排水処理を効率よく実施し、省力化を図るしくみになっています。

これからも当社グループは、厳しい法規制の基準をクリアし、サステナブルな社会の実現に貢献する技術力を向上してまいります。

* ペットボトルを8mm角くらいの小片に粉碎したもの



▲COD除去を行う活性炭吸着塔



▲遠東石塚グリーンペット姫路工場の全景(手前が排水処理設備)

現場担当者の声

VOICE



左から順に、
三機アクアテック株式会社
エンジニアリング部

桂 弘通
後藤田 理人

今回の施工では、水質汚濁防止法より厳しい規制が適用されている瀬戸内法を遵守する必要があり、膜分離活性汚泥法を採用しました。ストロー状の壁面に微細孔がたくさんある中空糸膜を用いているため、汚泥濃度を高く保つことができ、施設のコンパクト化が図れ、標準活性汚泥法と比べ高度な水質が得られます。これからも各地域によって異なる厳しい規制に対応できる高度な技術を培ってまいります。

技術紹介

自動仕分けシステム
「メリス・ビアンカ®」が2024年度
グッドデザイン賞を受賞

当社で開発した搬送型ロボットによる自動仕分けシステム「メリス・ビアンカ®」が、公益財団法人日本デザイン振興会の主催する2024年度「グッドデザイン賞」を受賞しました。

メリス・ビアンカは性能、信頼性、メンテナンス性を追求しながら、視覚から伝わるスマートなデザインが高く評価されました。フォルムを構成する外装カバーにはファブリック素材を採用することで圧倒的な軽量化を実現し、走行エネルギー消費量の削減にも寄与しています。当社では今回の受賞を契機に、メリス・ビアンカの販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進してまいります。



搬送型ロボットの特長

- ①

1台の搬送型ロボットにベルトコンベヤを2台装着し、小型搬送物の場合は2個同時に効率の良い搬送が可能。
- ②

高性能の搬送モータと堅牢な構造により、50kgまでの搬送物を静粛かつ高速の搬送を実現。
- ③

上位システムが全ロボットの位置と動きを常に監視し、最適ルートの指示を常時出し続ける高機能なソフトウェア。
- ④

美しい外観と容易なメンテナンス性を兼ね備えたフォルム。
- ⑤

作業員と搬送型ロボットを完全隔離するステーション式投入システム。
- ⑥

仕分能力は5,000個/時(搬送型ロボット100台投入ステーション6箇所の場合)
(※本仕様はステーション設置位置により変動します)。

より詳しいIR情報はこちら
<https://www.sanki.co.jp/ir>

三機工業

検索

連結貸借対照表の概要

単位：百万円

科 目	前期末 (2024年3月31日現在)	当第2四半期末 (2024年9月30日現在)
流動資産	131,564	117,539
固定資産	70,596	62,124
資産合計	202,161	179,664
流動負債	81,597	64,507
固定負債	15,941	14,038
負債合計	97,539	78,545
純資産合計	104,621	101,118
負債純資産合計	202,161	179,664

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

科 目	前第2四半期（累計） (2023年4月1日から2023年9月30日まで)	当第2四半期（累計） (2024年4月1日から2024年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,402	12,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△612	△727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,930	△3,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,939	32,249

株式の状況 (2024年9月30日現在)

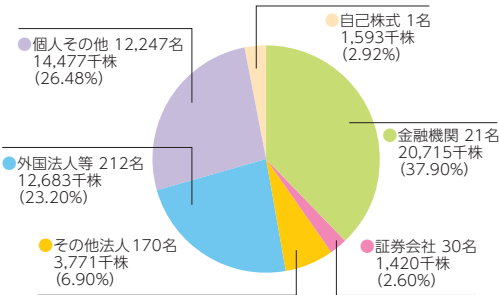
発行可能株式総数	192,945,000株
発行済株式総数	54,661,156株
株主数	12,681名

大株主 (2024年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,706	12.64
明治安田生命保険相互会社	5,184	9.77
三機共栄会	3,207	6.04
大樹生命保険株式会社	3,037	5.72
日本生命保険相互会社	2,252	4.24
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,106	3.97
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505001	1,675	3.16
三機工業従業員持株会	1,488	2.81
ジェーピーモルガンチェースバンク 380684	820	1.55
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505301	744	1.40

(注) 当社は自己株式1,593千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
また、持株比率は自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況 (2024年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当金 3月31日 (3) 中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めております。

公告掲載方法
電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。(当社ホームページ <https://www.sanki.co.jp/>に掲載します。)

単元株式数
100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店 (コンサルティングオフィス・コンサルプ
ラザを除く) で行っております。

「配当金領収証」による
中間配当金のお支払い
について
第101期中間配当金は、「中間配当金領収証」により、
払渡し期間内(2024年12月10日から2025年1月10日
まで)にお受け取りください。

上場株式配当等の
支払いに関する通知書
について
「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく
「支払通知書」を兼ねております。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社にお申出ください。

会社概要

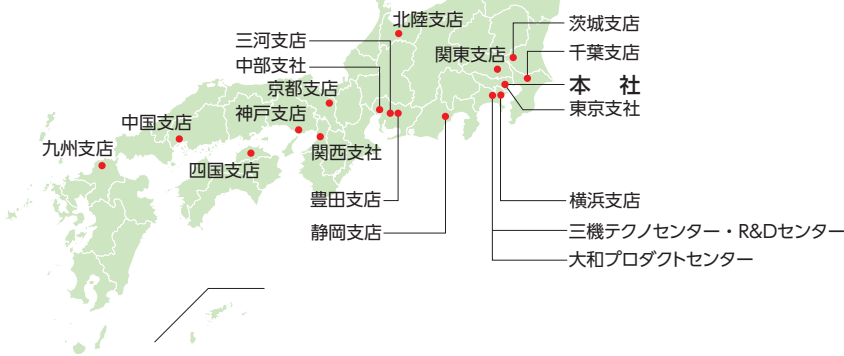
会社名	三機工業株式会社
英文社名	SANKI ENGINEERING CO. LTD
創立	1925年4月22日
資本金	81億518万円 (2024年9月30日現在)
事業内容	建築設備事業、プラント設備事業、不動産事業
従業員数	連結 2,677名 個別 2,122名 (2024年9月30日現在)

事業所一覧 (2024年9月30日現在)

支社	3ヶ所
支店	15ヶ所
総合研修 研究施設	1ヶ所
工場	1ヶ所

連結子会社 (2024年9月30日現在)

三機テクノサポート株式会社
三机建筑工程(上海)有限公司(中国)
タイ三機エンジニアリング&
コンストラクション社(タイ)
三機産業設備株式会社
三機グリーンテック株式会社
三機アクアテック株式会社
アクアコンサルト社(オーストリア)
三機パートナーズ株式会社



役員 (2024年9月30日現在)

○取締役および監査役	○執行役員
代表取締役会長 長谷川 勉	副社長執行役員 三石 栄司
代表取締役社長 石田 博一	専務執行役員 工藤 正之
取締役 三石 栄司	飯嶋 和明
工藤 正之	新保 順一
飯嶋 和明	川辺 善生
新保 順一	勝野 耕治
川辺 善生	波多野 宏行
山本 幸央	苅部 郁生
柏倉 和彦	成瀬 安計
河野 圭志	奥野 竜久
松田 明彦	太田 伸祐
梅田 珠実	門脇 公夫
常勤監査役 舘 邦彦	本川 忠行
山中 庸詳	中村 諭史
監査役 藤田 昇三	寺崎 毅史
跡見 裕	砂田 直人
江頭 敏明	山崎 泰弘
	浜坂 順一
	梅沢 昭仁
	中川 勇人
	清水 哲
	濱本 聖次
	五十嵐 一雄
	花洲 公一
	藤江 茂樹
	五十嵐 孝之
	川口 淳二
	橋本 直樹
	塚根 隆行
	古谷 伸之
	唐沢 邦夫
	東 勝彦
	岩岡 亨
	吉田 智明
	名古屋 和宏
	杉阪 和彦
	佐古 俊晴
	日下部 智久